



櫨紅葉 (はぜもみじ)

発行：令和6年2月1日（木） （文責） 校長 田中 克三



カラー版は学校ホームページでご覧になれます。QRコードはこちら→

新しいことにチャレンジするのに最適な1年

～ 2024 辰年 今年もよろしくお願いします ～

筆不精で大変遅くなりましたが、あらためまして、新年、明けましておめでとうございます。
今年も中原中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

ところで、新年早々、能登地方では大地震、羽田空港では航空機事故が発生し、身の引き締まる衝撃的なお正月となりました。報道等を見るにつれ、あらためて日頃からの備えや危機に直面した際の判断の大切さを思い知らされました。能登地方では、一月ほど経った現在も家屋が倒壊し、水道や電気の復旧がなされないまま不自由な避難生活が続き、生活再建の見通しが立たない状況の方も多くおられます。一日も早い復旧・復興をお祈りしたいと思います。



1/4「仕事始め」の朝
校長室から見た御来光

さて、早いもので今年は西暦2024年・・・21世紀に入って24年ということで、十二支も2周した計算になります。干支と言え、今年は「甲辰（きのえ・たつ）」です。「甲」という漢字は、十干（じっかん）＝「甲乙丙丁～癸」の始まりであり、「物事の始まり」ととらえることができます。また、「辰」という漢字は、もともと「二枚貝が足を出して動く様」を表しているとされ、「ふるう、ゆれる、ととのう」——つまり、「うごめきながら形が整っていく状態」を意味している」のだそうです。

そこで、1月9日（火）の始業式では、この二つが合わさる「甲辰（きのえ・たつ）」の年は、

「①新しいことを始めて成長につながる」 「②これまで努力してきたことが形になる」

といった意味で変化が大きい年になると考えられているので、新たな成功を目指して何かにチャレンジするには最適な1年であるという話をしました。

しかし、チャレンジするには「準備」が大事です。まずはこの3学期を、新たなステージ（3年生は卒業後の進路へ、1・2年生は次の学年に向けて…）に飛び立つための「助走＝足場固め」の意識で過ごしてほしいものです。

私たちにできることを…

～能登半島地震被災者支援募金～

生徒たちにとってもやはり前述した「能登半島地震」は心を痛めた出来事だった様子です。同じ世代である地元の中学生が、親元を離れ「集団避難」したというニュースが流れる中、「自分たちにも何かできないか」と考え、1月24日（水）から生徒会で「募金活動」を行っております。

遠い佐賀県にいる私たちがすることは限られているかもしれませんが、「少しでも役に立ててほしい…」という生徒たちの思いはきつと現地に届いていることでしょう。



募金箱を手にする堤会長

それぞれの道に向かって…

～3年生 いよいよ高校入試に突入～

1月18日（木）、多くの3年生が佐賀地区の私立高校入試に挑みました。特に、私立高校が第一志望の生徒にとっては、15の春を笑顔で迎えるための正念場。これまでに努力してきたことを発揮する時がやってきたのです。これから3月の県立高校入試まで、それぞれの進路希望に合わせて入学試験が本格化します。

本校職員も3年担当を中心に、個別指導や面接指導、出願書類の点検に感染対策、そして、最後に合格祈願。やるべきことをできる限り行っています。



職員全員で出願書類を点検



自分事として自主的に守る為に

～KMP（K:校則 M:見直し検討 P:プロジェクト）～

今、全国的に「学校の決まり」いわゆる「校則」を見直すことが話題になっています。生徒指導の指針として文部科学省が示している「生徒指導提要」についても令和4年12月に改訂され、具体的に「校則の運用、見直し」の重要性について記載されています。以下はその部分を抜粋したものです。

- ・校則の制定に当たっては、少数派の意見も尊重しつつ、児童生徒個人の能力や自主性を伸ばすものとなるように配慮することも必要
- ・校則に基づく指導を行うに当たっては、校則をさせることばかりにこだわることなく、何のために設けたきまりであるのか、教職員がその背景や理由についても理解しつつ、児童生徒が自分事としてその意味を理解して自主的に校則を守るように指導していくことが重要
- ・学校の教育目的に照らして適切な内容か、現状に合う内容に変更する必要があるか、また、本当に必要なものか、絶えず見直しを行うこと
- ・見直しに当たっては、児童会・生徒会や保護者会といった場において、校則について確認したり議論したりする機会を設けるなど、絶えず積極的に見直しを行っていくこと

本校でも、この流れを受け、昨年から生徒会と連携して、今ある「生活のきまり」を見直し・改善する「校則見直し検討プロジェクト（KMP）」を立ち上げ、協議を進めてきました。

3年生の旧生徒会本部のメンバーが中心になって、全校生徒に「生活のきまり」で改善してほしいところをアンケート調査し、提案書にまとめ、職員との議論の場に臨みました。

今回の検討の結果、髪型についていくつか変更点を整理することができ、1月12日（金）の生徒朝会でその結果を全校生徒に伝え、翌週から運用を開始することとなりました。



KMP 会議の様子



新たな一歩を踏み出す
きっかけを作った旧生徒会
メンバー

【2月の主な行事】

2月 1日（木）	佐賀私立後期一般入試 1・2年生学力検査
6日（火）	県立特別選抜入試
7日（水）	第8回読み聞かせ（最終回）
9日（金）	全校朝会
13日（火）	3年学力検査（～14日）



『中原中の部屋』

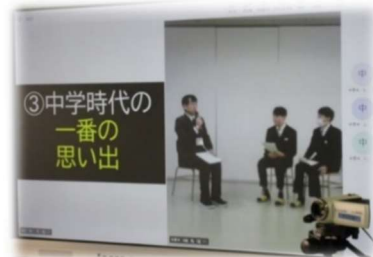
～1/12 生徒朝会 企画～

1月12日（金）の生徒朝会では、トーク形式でゲストの生き様や思いを引き出していく企画の『中原中の部屋』がオンラインで実施されました。

第1回目のゲストとして校長である私が引っ張り出されました。進行を務める生徒会本部のメンバーの話術が素晴らしく、初めはあまり乗り気がしなかったのですが、終わってみれば楽しい時間となりました。

繰り出される質問に合わせて私の学生時代の経験や校長としての思いを話してみたのですが、聞いている側の生徒たちにとってどうだったのでしょうか。参考になる何かを伝えることができたかはいまだにわかりません（笑）。

以下にその時のやり取りのいくつかを紹介します。



Q. 中学時代の一番の思い出は？

A. 当時の学校ではそれまでやってなかった文化発表会の学年劇を担当の先生方や仲間と一緒に初めてやることになり、終わってみたら大好評だったこと

Q. 3年生は高校生活がもうすぐ始まるが、高校生活を楽しむコツは？

A. 友人・仲間と一緒にできないことに全力を尽くしてみる

Q. 校長先生になるために、人より努力したことは？

A. 「なるために」では全くないが、これまで「やってみないか」と言われたことは、できたかどうかは別として、「私でよければ…」という気持ちでできるだけ引き受けてきた

Q. 校長先生をやっていて、一番楽しい瞬間は？

A. 「楽しい」というより「嬉しい」のは、生徒が先生方と協力して新しいことに挑戦し、何かをやり遂げて笑顔で語り合っているのを見るとき

Q. 最後に生徒に伝えたいことを一言

A. 自分（だけ）が成功して幸せ（happy）になることを求めるのではなく、周りの人やそこにある社会全体が幸せ（Well-being）を感じるように自らが行動してほしい。どれだけ周りの人に「ありがとう」を配るか、どれだけ周りの人からの「ありがとう」を集められるかを頭の片隅において生活してほしい

